

## 上原行照大阿闍梨による特別祈禱

～不二の祈り～ **4月19日(日)午前11時より**

今年不二の祈りは7年目を迎えます。初年度から昨年までは10月3日に  
行われました。秋は様々な行事が続きます。不二の祈りを継続するため、また、  
多くの方にお参りいただけるように今年から4月の第三日曜日に変更するこ  
とになりました。昨年の10月3日に日程変更のお話合いがされました。そ  
の時、次年度コロナウイルスの脅威にさらされている状況を想像した人がいた  
でしょうか。東日本大震災、温暖化による異常気象、得体の知れないウイルス  
感染・・・平安時代、天台宗の僧侶慈恵大師良源(第18代天台座主)は、角大  
師としても有名ですが、疫病を封じ込めるお札も有名です。現在でも京都のみ  
ならず、地方においても厄除けのお札として玄関先に貼ってある光景を目にし  
ます。高度な医療が生み出されている昨今ですが、自然の驚異にさらされるの  
は、いつの時代も同じなのかもしれません。環境汚染も経済も、またウイルス  
までも世界中がつながっている今日、心を落ち着かせ立ち止まり祈ることは、  
明日を生きるための尊い時間になると思います。自然の驚異も、世界経済も自  
分の力でどうにかなることはありません。けれども、祈る行為によって得ら  
れるものは、仏様やご先祖様、神様など目に見えない存在を感じることで動じ  
ない心を持てるということです。富士五湖地方は、観光業が盛んな地域です。  
コロナウイルスの影響は測りしれません。生き仏である阿闍梨様のお力をお借  
りして、神仏に祈ることで神仏の存在を身近に感じて、心にお守りを頂戴でき  
ると信じております。皆様のお参りをお待ちしております。

### ◆伝教大師1200年大遠忌◆

## 不滅の法燈 全国行脚 東円寺奉安

**令和2年6月8日(月)～12日(金)**

伝教大師遷化1200年を記念して、比叡山の根本中堂に灯されている不滅の  
法燈が全国の天台宗の主な寺院を巡り、奉安されます。この度、東円寺が不滅の  
法燈全国行脚寺院の一つとして選ばれました。寺伝によると弘仁年間(810～  
824)弘法大師空海が富士山山岳修行の寺として開創した南泉寺から現在の東  
円寺まで凡そ1200年になります。このような時に1200年の時を越え、伝  
教大師最澄様が灯された不滅の法燈が東円寺に奉安されることは東円寺の一大  
慶事であり奇跡です。この慶事を檀信徒の皆様と共に祝いしましょう。比叡山  
にお参りしないと拝めない不滅の法燈が東円寺本堂で拝むことができます。檀信  
徒の皆様だけでなく、知人、友人お誘いの上、多くの方々のお参りをお待ちして  
おります。なお、記念の限定特別御朱印もお授けします。

檀信徒の皆様にはご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。昨年までの異常気象による災害に加えて、今年は、新年早々世界中がコ  
ナ騒ぎで大変なことになっていきます。幸い山梨県では、まだコロナウイルスの発症は報道されていませんが、不安な毎日を通じてのこと  
ご推察もうしあげます。今年は東京オリンピックの年ですが多くのスポーツ競技が中止や延期、また無観客試合の開催等、加えて学校の長期にわ  
たる臨時休校など、異常な事態になっていきます。東円寺において、今年は聖観音造像七百年、現本堂再建二百年という節目の年になります。その  
ような記念の年に観音堂の建設が始まります。江戸時代の古文書によると、東円寺の観音堂は郡内三十三観音の第三番札所になっており、忍草浅  
間神社の境内に建っていました。多くのの方々のご支援により、明治の廃仏稀釈により失った観音堂が再建できることを感謝申し上げ、皆様と共に  
喜びたいと思っております。観音堂再建浄財の寄進は本年十二月まで受け付けております。ご協力お願い申し上げます。

# 初不動大祭 ～交通安全・厄除け祈願祭～ 1月28日(日)

1月28日、大雪の中、令和元号が始まって初めての「初不動交通安全祈願祭」が執り行われました。

「初不動交通安全祈願祭」は初代忍野村交通安全協会長の発願により交通安全を願うため、行われることになりました。

忍野村は、昨年11月16日に村内交通死亡事故連続ゼロ8000日に達し(現在継続中の日数としては県内最長)、県警察より表彰されました。今年も忍野村交通安全協会主催のもと富士吉田警察署長をはじめ、忍野村長、忍草区代表など大勢の方々が参拝するなか護摩供を盛大に厳修いたしました。皆様の所願と今年も死亡事故ゼロの記録が更新しますよう、一心にお勤めさせていただきました。



## 観音堂再建寄進者芳

令和元年 12月吉日

金 2万円 京都 荒木正弘殿

金 1万円 沼津 貫名末子殿

金 1万円 沼津 貫名義忠殿

金10万円 横浜 鷹野昭男殿

令和2年 2月吉日

金50万円 大森一徳殿

金 1万円 日西 修殿

浄財寄進ありがとうございました。

令和2年2月までの合計

24,425,703円

## ～仏参金納入口座のお知らせ～

郵便口座

記号10800 番号6654231

口座名 トウエンジ 又は 東圓寺

※キャッシュカードでの振り込みですと、  
手数料が掛かりません。

山梨中央銀行

忍野支店 口座 普通

121086 東円寺

◎ご家族の名前で振り込んだ場合、家の確認ができないことがありますので、必ず戸主がわかるようにしてください。

## ～12月31日 大晦日・除夜の鐘～



今年は年末を感じることができないほどの暖かさでしたが、さすがに大晦日の忍野の夜は冷え込みました。そんな極寒の中、たくさんの方々が除夜の鐘を撞きに来てくださいました。年号が変わり、初めての除夜の鐘です。昨今では騒音問題で除夜の鐘を行うことができない寺院が増えているそうですが、日本の風物詩がなくなってしまうのは寂しいことです。一年の終わりに煩惱を祓い、新たな気持ちで新年を出発することのできる大切な行事です。いつまでも、続いていくことを願っています。

## ～子育地蔵尊大祭～

開催日時 令和2年5月16日(土)  
9時～受付 10時～祈願・法要



江戸時代から継承されてきた子育地蔵尊祭ですが、行事スタイルは時代とともに変動してきました。お子さんを連れてお参りいただきたいの思いから、昨年は4月の第三土曜日に変更させていただきました。この度、不二の祈りの変更に伴い今年から5月の第三土曜日に変更させていただきましたことになりました。東円寺は1200年という長い歳月、富士山の山岳信仰の拠点と地域の人々の心の拠り所として守り継がれてきた寺院です。東円寺には、長い歳月(歴史)をかけて、その時代を生きた人々の祈りを受け止めてこられた様々な仏様が安置されています。祈りは、心の平穏を保つものでありますので、新緑の美しい5月、皆様のお参りを心よりお待ちしております。

※詳細はホームページ等でご確認ください。

願意表は別紙と  
なっております。  
御覧ください。



### ☆インド子供基金より☆

インド子供基金では、使用済み切手(記念・普通)とプリペイドカードを集めています。また、未使用のタオルなどがありましたらご協力ください。

※切手のふちは台紙のついたまま周囲1cmぐらい残して切ってください。

※子育地蔵尊祭当日にお持ちいただいても結構です。

### 一隅会会員募集

天台宗には宗祖伝教大師の御教えを実践する一つの組織として、天台宗一隅会(一隅を照らす運動)があります。賛同してくださる会員を募集しています。お気軽にお問い合わせください。

### ☆ご詠歌に参加しませんか☆

3月～12月 第2・第4月曜日

午後2時～3時

※行事によって変更有り

### 天台青少年の集い参加者募集

「天台青少年の集い」とは、天台宗の総本山である比叡山延暦寺にて、「一隅を照らす」精神を持った青少年の育成を目的とした夏休み中に行われる2泊3日の合宿です。日常生活とは違う空気の中で過ごす貴重な体験ができます。是非ご参加下さい。

※中学生・小学6年生であればどなたでも参加可能です。お申し込み・お問い合わせは東円寺まで

### 八海・新名庄川清掃活動参加者募集

東円寺では、一隅を照らす運動の一環として、毎月8日に忍野八海・新名庄川の清掃活動をしています。清掃活動を続けて、12年目に入りました。今年も毎月8日に清掃・除草活動をします。天候などで変更する場合は事前に連絡させていただきます。多くの皆様のご理解とご参加・ご協力をお願いします。

## 第3回「東円寺こども発心会(ほっしんえ)」開催



天台宗一隅を照らす運動総本部では、幼少期からお寺や伝教大師最澄様の御教えに親しんでいただくために、「こどもほっしんえ」を推進しており、当山に於きましても「ほっしんえ」を開催しております。

当日は、子供たちと一緒にお経を唱え、写仏体験や仏様の説明など、子供たちにお寺ならではの体験を予定しております。是非ともこの機会に「ほっしんえ」に参加していただき、仏様の教えにふれてみてはいかがでしょうか。ご参加お待ちしております。

開催日時 令和2年7月18日(土) 14時より  
☆参加無料

### ～座禅～

東京オリンピック開幕が近づき皆様におかれましても楽しみにしているのではないのでしょうか。開催が決定してからは海外からの観光客も増え、各業界も観光客の受け入れ態勢を強化して様々な取り組みをされています。

当山に於きましても、外国からの観光客で座禅体験を希望する方が増えています。昨年は「ラグビーワールドカップ2019」フランス代表選手が座禅体験をされ、「座禅にはとても興味があったので、いい体験ができた」との感想をいただきました。私も海外の方の日本文化に対する興味深さを知ることができました。皆様も座禅や写経などの体験を通して日本文化やお寺(仏教)の素晴らしさを改めて認識していただきたいと思います。

慈法 記

### 寺庭のつばゆき

昨年12月4日アフガニスタンで活動されていた「中村哲医師」は車で移動中に銃撃を受け亡くなりました。中村医師の活動の源は「照一隅」でした。「一隅を照らす」とは、伝教大師最澄様が残されたお言葉です。この言葉に込められた思いは、広い世界を照らすことではなく、小さな社会である家庭に灯りを照らすこと、または、地域に・・・そのように一人一人の灯りが社会全体に影響し大きな灯りとなっていくことを願われたものです。「私は、このアフガニスタンの地に一隅を照らすと決めました。」そのように中村医師は講演会で話されています。アフガニスタンに必要なものは、武器ではなく水と食料であると。この一念で、井戸を掘り、砂漠に用水路を引き、不毛の地が緑豊かな大地へ変わりました。命を救いたい一念の行動だったそうです。今年一隅を照らす運動は50周年を迎えます。伝教大師様が遷化されてから令和3年で1200年を迎えます。この尊いご縁を機会に今年4月から「不滅の法灯」が全国を行脚いたします。ありがたいことに、6月8日から12日まで、東円寺に「不滅の法灯」が奉安されます。「油断」という言葉は、不滅の法灯の油を断ってはいけないという戒めから生まれた言葉と聞きます。先人たちの苦勞のお陰で現在のように豊かな社会があることを感謝し、「本当に人間にとって大事なことは何なのか、人間が無くしても良いことは何なのか、人間として最後まで大事にしなくちゃいけないものは何なのか」これも中村医師の言葉ですが、この言葉を噛みしめながら1200年後の未来が今よりもさらに充実した未来になっていることを祈りたいと思っております。不滅の法灯が奉安される数日前には、先祖供養団参で比叡山に上がらせていただきます。様々な思いを胸に、比叡山で皆様と過ごせることを楽しみにしております。